

予 算 要 求 資 料

令和 4 年度 9 月 補正 予算

支出科目 款：土木費 項：道路橋りょう費 目：交通安全対策費

事業名 【新】防災・減災対策等強化事業推進費（公共交通安全対策事業）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 道路維持課 安全防災係 電話番号：058-272-1111(内3716)

E-mail：c11657@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 340,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	340,000	170,000	0	0	0	0	0	153,000	17,000
決定額	340,000	170,000	0	0	0	0	0	153,000	17,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和 4 年 4 月 25 日に奈良県大和郡山市の近鉄橿原線の踏切で視覚に障がいを持つ歩行者が列車と接触し死亡する事故が発生した。

これを受け、国土交通省は 6 月 9 日に「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」を改定し、踏切部における点字ブロックの設置方法を示すとともに、バリアフリー法に基づく特定道路の新設以外の道路に対しても、ガイドラインに基づく対策に努めるよう通知された。

当県においても、令和 4 年度第 3 回県議会の一般質問において、平野恭子議員から、今回の踏切事故を受けた点字ブロックの設置方針を問われるなど、視覚障害者の安全な通行確保に向けた対策を早急を実施する必要がある。

特定道路に指定される県管理道路で、3 箇所の踏切では、点字ブロックの設置が不完全となっているほか、歩道の点字ブロックが未設置や破損、舗装の平坦性が損なわれている箇所が見受けられる。

今回の事故を受け、早期に安心・安全な道路機能を確保することから、推進費を活用して緊急にバリアフリー整備を推進する必要がある。

(2) 事業内容

特定道路において「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」に基づくバリアフリー対策を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助：1 / 2 道路（防災・安全社会資本整備交付金（交通安全））

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
本工事費	340,000	
点示ブロック工	70,000	14.5千円 / m × 4,875m ≒ 70,000
歩道舗装補修工	270,000	アスファルト 15千円 / m ² × 9,500m ² ≒ 143,000 インターロッキング 34千円 / m ² × 3,724m ² ≒ 127,000
合計	340,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

特になし

(2) 国・他県の状況

特になし

(3) 後年度の財政負担

特になし

(4) 事業主体及びその妥当性

県の公有財産である道路の適切な維持管理に要する経費であり、県が実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和4年度末までに特定道路に指定される県管理の歩道及び踏切手前部の点字ブロック設置を完了する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	
					達成率	
点示ブロックの設置または損傷部分の補修（踏切）	3箇所			3箇所	3箇所	
点示ブロックの設置または損傷部分の補修（歩道）	5.2km 7箇所			5.2km 7箇所	5.2km 7箇所	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない 	
(評価) 3	国土交通省は6月9日に「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」を改定し、踏切部における点字ブロックの設置方法を示すとともに、バリアフリー法に基づく特定道路の新設以外の道路に対しても、ガイドラインに基づく対策に努めるよう通知した。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	/
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている 	
(評価)	/

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 	/
--	---

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和4年度単年度事業
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	